



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和8年7月17日(金)発行 第5号

夏休みを前に

副校長 宮本 光司

7月に入り暑い日が続いていますが、各御家庭では子供たちの体調管理に心を配ってください、ありがとうございました。夏休みも体を大切にお過ごしください。

◆学校運営連絡協議会から

本校では、地域や関係機関の方から意見をいただく会議があります。「学校運営連絡協議会」、「学校保健委員会」、「防災教育推進委員会」等です。この内、「学校運営連絡協議会」の委員は、大学教授、民間企業、療育機関、保健所、福祉施設、就労支援機関、就学前教育、近隣の学校、本校PTA、といった様々な分野の方々です。6月の協議会では、次のような助言や感想をいただきました。

- ・学校経営計画に共感する。意思決定支援を進めることは重要。
- ・支援機器を活用して、障害が重い子供たちの表出・可能性を引き出してほしい。
- ・学校の情報発信に期待している。
- ・医療的ケアの継続性と保護者付添い負担の軽減に向けた取組を引き続きお願いしたい。
- ・学校の教育支援は充実してきている。大きな学校なので職員への徹底が重要になる。

新たな視点からの御指摘も多く、いただいた御意見等を踏まえ、さらに改善を進めてまいります。

◆夏休み中のスポーツ大会参加について

肢体不自由教育部門パラスポーツ部は、「全国ボッチャ選抜甲子園」の地区予選を勝ち上がり、全国大会への出場を決めました。全国大会は8月8日(土)に墨田区体育館で行われます。一昨年の準優勝を超えられるか、楽しみです。その他にも、7月25日(土)ボッチャCIAOカップ、8月30日(日)小学生ボッチャ競技会予選に、本校の児童・生徒が参加します。知的障害教育部門サッカー部は、7月22日(水)に全国特別支援学校フットサル大会に出場します。

◆学校ホームページの保護者専用ページとX(旧ツイッター)について

お知らせしているように、7月1日から学校ホームページの中に「保護者専用ページ」を開設しました。保護者の皆様に必要な情報を分かりやすく載せていく予定です。また、X(旧ツイッター)による発信もしています。こちらもホームページからアクセスできます。学習や行事の様子などをお伝えしていきます。

◆学校閉庁日について

8月10日(月)～17日(月)は「学校閉庁日」です。この間は平日も職員は出勤しないため、事故等の場合の御連絡は、下に記載の学校携帯電話をお願いします。

お問合せ(夏季休業中)

◇平日(午前8時30分から午後5時まで) 042-367-2511(学校代表番号)
8月10日から8月17日までは閉庁日となっているため対応ができません。

知的障害教育部門高等部 1 年 ～グローバルな体験～

知的障害教育部門高等部 1 年 教諭 及川 圭佑

6 月 23 日（火）立川市にある東京グローバルゲートウェイグリーンズプリングス（体験型英語学習施設）に行ってきました。事前学習では、日程や行き先を確認したり、英単語の発音練習や英語を使った遊びを行ったりして、英語に親しむ学習にたくさん取り組みました。実際に施設内に入ると、初めは緊張した表情の生徒も多くいましたが、事前学習を生かし、室内の壁に投影されたお店やアクティビティなどの映像に囲まれた空間で、外国人スタッフと主体的に会話やコミュニケーションを楽しんだり、雰囲気味わったりすることができました。外国の文化に触れるよい機会になったと思います。

これからも様々な教育活動を通じて生徒一人一人の実態に応じた指導をする中で、学びの意欲や関心を高めていき、多様な経験を積んでいけるように取り組んでまいります。



初めての宿泊行事

肢体不自由教育部門小学部 6 年 教諭 岡本 光

6 月 24 日（水）から 25 日（木）、肢体不自由教育部門小学部 6 年生は、「高尾の森わくわくビレッジ」で 1 泊 2 日の移動教室を行いました。

午前中は、「皮のキーホルダー」の制作に取り組みました。施設指導員の方に作り方を教わりながら、好きな刻印を選んで木づちで打ち込み、世界に一つだけのオリジナルキーホルダーを作ることができました。「夜のレクリエーション」では、「わくわくりレー」などをしました。友達と友情のバトンをつなぎ、6 年生のみんなが一体となる時間を過ごしました。

初めての宿泊行事となりましたが、自分の係活動に責任をもって取り組むことができたり、友達との交流を深めたりすることができ、貴重な体験となりました。保護者の皆様には、移動教室に向けて御準備など、様々な御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。



くぬぎ分教室「音楽鑑賞会」

くぬぎ分教室 教諭 吉澤 由紀子

6月25日(木)「音楽鑑賞会」を行いました。ゲストに「ミュージックボックス」の皆さんをお迎えし、小学部・中学部・高等部の児童・生徒が一緒に参加し、生演奏の迫力や美しい音色を楽しみました。手拍子をしたり、体を揺らしてリズムを感じたり、それぞれが自分らしい方法で音楽に親しむことができていました。会場は笑顔と温かな拍手に包まれ、すてきな時間となりました。最後に児童・生徒が「ありがとう」の気持ちを込めて、手作りのメッセージカードをお渡しし、とても喜んでいただきました。府中療育センターの皆様からも温かい御協力をいただき素晴らしい会となりました。

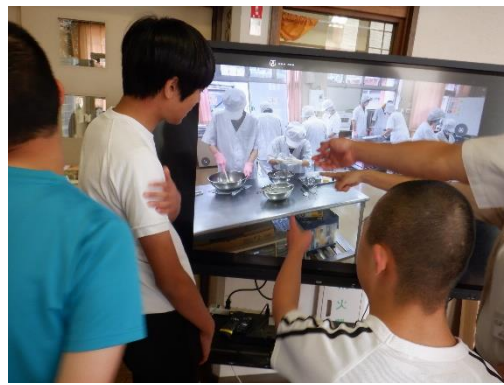


知的障害教育部門中学3年就業体験 ～高等部作業学習見学・体験～

知的障害教育部門中学部 教諭 堺 雄一

7月3日(金) 高等部作業学習の見学と体験を行いました。高等部進学への具体的なイメージを抱きつつ、生徒たちは高等部の様子に期待と緊張感をもって当日に臨みました。実際の作業学習に触れることで、中学部での作業学習が高等部へ進んでも大いに役立つこと、また中学部と高等部の雰囲気の違いを知ることもできた貴重な学びとなりました。最後に、高等部の学部主任の先生から進学へ向けた残りの中学部での過ごし方(「挨拶」「報告・連絡・相談」「規則正しい生活を過ごす」)について講話があり、生徒たちは最後まで真剣に聞いていました。

後期には、校外での就業体験を計画しています。高等部卒業後の進路へ向けても中学部の段階から主体的に考えられるよう支援・指導してまいります。



I C T機器やデジタル端末を活用した授業

～肢体不自由教育部門高等部・自立活動を主とする教育課程での実践～

肢体不自由教育部門高等部 主任教諭 平田 愛子

肢体不自由教育部門高等部では、学習内容や目的、生徒一人一人の実態に応じて、I C T機器やデジタル端末を活用した授業を行っています。今回は、自立活動を主とする教育課程（Cグループ）の取組を紹介します。

C 1 グループの美術の授業では、自分や友達が制作した作品を写真に撮り、振返りに活用しています。生徒はそれぞれ活動しやすい姿勢で授業に参加していますが、作品をデジタル端末で大きく提示することで、誰もが見やすい形で作品を確認できます。また、自分の作品をみんなに紹介する機会が増えたことで、達成感や意欲につながり、制作への集中力も高まりました。

C 2 グループの国語・数学の授業では、絵本に登場するキャラクターをスイッチ操作で動かしながら学習しています。「大きい・小さい」「多い・少ない」などの概念を、自分の操作による画面の変化を通して学ぶことで、理解が深まっています。スイッチを押すたびに音が鳴ったり画面が変化したりすることも、生徒の興味や関心を高め、主体的に学習へ取り組む姿につながっています。

I C T機器は、生徒の学びを支え、意欲や理解を広げる大切なツールとなっています。今後も、生徒一人一人の可能性を引き出す活用を進めていきます。



～知的障害教育部門高等部の実践～

知的障害教育部門高等部 主任教諭 瀬川 恭平

高等部3年生の情報では、プログラミングについて学んでいます。授業当初は、プログラミングに対して難しそうなイメージをもつ生徒が少なくありませんでしたが、プログラミングロボットをとおして操作方法を覚えたり、友達と手順を話し合ったりして楽しみながら取り組むことで、前向きに参加する生徒が増えました。プログラミング教育では、I C T機器の操作を覚えるとともに物事を順序立てて考える力や、問題を分析し解決に向けた思考を育んでいます。



【 プログラミング学習キット 】

3Dの説明書を確認しながら、ブロックを組み立てます。電子パーツを組み合わせることで、アプリケーションのコマンドを操作し、ロボットへの命令をプログラムすることができます。



【 ロボットボール 】

Bluetoothを使用し、タブレット端末からスワイプや傾き等で直感的に操作ができます。

セーフティ教室 ～「い・か・の・お・す・し」～

生活指導主任 主幹教諭 吉田 久明

府中警察署のスクールサポーターを講師にお招きし、セーフティ教室を実施しました。

児童・生徒は、犯罪や事故から自分の身を守るための大切な行動について学びました。今回の学習では、防犯の合言葉である「い・か・の・お・す・し」を中心に、安全な生活を送るためのポイントを確認しました。

「いかない」は知らない人についていかないこと、「のらない」は知らない人の車に乗らないことを表しています。また、「おおごえをだす」は危険を感じた際に助けを求めること、「すぐにげる」はその場から離れること、「しらせる」は家族や先生など信頼できる大人に知らせることを意味しています。児童・生徒たちは、講師の方のお話や具体的な事例を通して、一つ一つの行動の大切さを学びました。

学習の中では、知らない人から声を掛けられた場合を想定し、どのように行動すればよいかを考えました。困ったときには一人で抱え込まず、周囲に助けを求めることや、大人に相談することの大切さについて理解を深めることができました。

今回のセーフティ教室を通して、児童・生徒は自分の命と安全を守るための行動を改めて確認することができました。学校でも引き続き安全教育を推進し、安心して生活できる力を育んでまいります。御家庭でもぜひ「い・か・の・お・す・し」について話題にいただき、子供たちの安全と一緒に見守っていただければ幸いです

「野菜くずの冒険」 2年目を迎えました！

SDGs 担当 指導教諭 安仁屋 政秀

本校で取り組んでいるSDGs活動「野菜くずの冒険」が2年目を迎えました。今年度は、回転式コンポスト「作太郎」に加え、2機目のコンポストも仲間入りし、2台で堆肥づくりを進めています。

保護者の皆様には、日頃から野菜くずや卵の殻の回収に御協力いただき、ありがとうございます。

今年度は試行的な取組として、コンポスト内でそのまま熟成を進めています。投入した当初はあふれそうなほどあった野菜くずも、日がたつにつれて分解・熟成が進み、現在では半分以下の量になっています。子供たちは、その変化を実際に見ながら自然の力や資源循環について学んでいます。

また、2機目のコンポストの名前を校内で募集しています。集まった候補の中からシール投票で決定し、1学期中に発表する予定です。どんな名前になるのか、ぜひ楽しみにしてください。

なお、野菜くずや卵の殻を小さくしてお持ちいただくことについては、これまでお願いしているとおり、引き続き御協力をお願いいたします。

現在、紙芝居「野菜くずの冒険2」も制作中です。

新たな物語として、子供たちに活動の魅力を伝えていく予定です。公開をぜひお楽しみにしてください。

ポイントに応じた引換えについては、実施日を決めて行う予定です。詳細は改めてお知らせいたします。

今後も、環境や資源循環について楽しく学びながら活動を進めてまいります。引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

